

料金後納
郵便

株主通信 第117期 第1四半期のお知らせ

brother
at your side

ブラザー工業株式会社



【株主名簿管理人】三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話/0120-232-7111 (通話料無料)

1 開く

ここからゆっくりはがしてご覧ください。
万一ぬれた場合は十分に乾かしてからはがしてください。

環境への取り組み

ブラザーグループでは、植樹活動や建物の屋上緑化、クールビズの導入など、地球温暖化の防止のためにさまざまな取り組みを行っています。ここではその一部をご紹介します。

「ブラザーの森 郡上」第1回植樹活動を実施

2008年6月14日に、岐阜県郡上市にある「ブラザーの森 郡上」にて、第1回目の植樹活動を行いました。ブラザーグループからは、社長の小池をはじめ、約90名の従業員とその家族が参加し、郡上市森林組合など関係者の方々のサポートを受けながら、コナラ、ミズナラ、クリなどの苗木200本を植樹しました。第1回目の活動として、まずは小さな一歩ですが、これからも継続して植樹、間伐活動などに取り組み、森林の保全を目指していきます。



Brother forest
in Gujo

「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加

6月21日(土)から行われた環境省主催のイベント「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に賛同し、イベントより期間を延長して6月18日から7月7日までの20日間、本社屋上看板をはじめ、国内ブラザーグループの主要な建物や看板の照明など、16箇所22基を消灯しました。この活動でのCO₂削減想定量は約6.4トンとなりました。

新製品
紹介

「ジャスティオ」シリーズ JUSTIO 6機種一挙に新発売

ビジネス向け製品ラインアップ「ジャスティオ」シリーズの新製品として、カラー/モノクロレーザー製品を一挙に6機種発売しました。これまで以上に充実したラインアップで、お客様の幅広いニーズに細やかに対応していきます。

〈カラーレーザー複合機〉

MFC-9840CDW

自動両面印刷機能を搭載、
有線・無線LANに標準対応の
シリーズ最上位モデル



〈カラーレーザープリンタ〉

HL-4050CDN

自動両面印刷機能を搭載した
有線LAN対応モデル



〈モノクロレーザー複合機〉



MFC-7840W

有線・無線LANに標準対応した
ファクス付きモデル



MFC-7340

ファクス付き
スタンダードモデル



DCP-7040

自動原稿送り装置を搭載した
ファクスなしコンパクトモデル



DCP-7030

機能を絞り込んだ
コンパクトモデル

《重要》2009年1月から株券が電子化される予定です!

電子化されると株券は無効となり、株主の権利は電子的に証券会社などの金融機関の口座で管理されます。

〈ご注意下さい〉

- お手許の株券の名義がご本人以外になっていると、株主としての権利を失う場合があります。
▶ 電子化実施までに必ず名義書換を行ってください。
- 証券保管振替機構(ほふり)に預けていない株券は、電子化後は当社が開設する「特別口座」で管理されるため、売却の手続きが煩雑になる可能性があります。
▶ 電子化実施までに証券会社等を通じてほふりへの預託をお勧めします。

当社ホームページにQ&Aコーナーを開設しました。こちらまでご利用下さい。

▶ <http://www.brother.co.jp/investor/denshika/index.htm>

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

株主の皆様とのコミュニケーションをさらに深めるため、今年度より株主通信を年4回発行いたします。この株主通信を通じて、当社についてご理解を深めていただければ幸いです。

さて、今回は2008年度第1四半期(2008年4月~6月)の連結業績を中心にご報告申し上げます。原油・素材などの価格が高騰し、米国に加え欧州・日本でも景気減速感が強まる中、売上高は1,261億円と対前年同期で減収、営業利益は92億円、経常利益は96億円と減益となりました。四半期純利益につきましては、対前年同期で増益の65億円となりました。

経済環境は先行きに不透明感を増しておりますが、企業価値向上にブラザーグループ丸となって全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役会長

阿井 義博



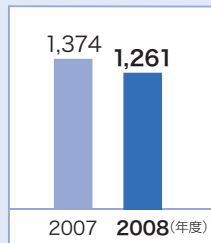
代表取締役社長

小池 利和

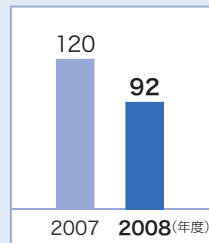
※本通信は2008年3月末時点での株主の皆様にお送りしておりますことをご了承下さい。

2008年度 第1四半期の連結業績概況

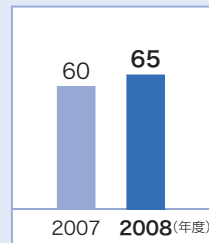
売上高



営業利益



四半期純利益



(単位:億円、億円未満は四捨五入)

売上高

主に米ドルに対する為替のマイナス影響、工業用マシン事業の不振、事業譲渡の影響などにより減収

営業利益

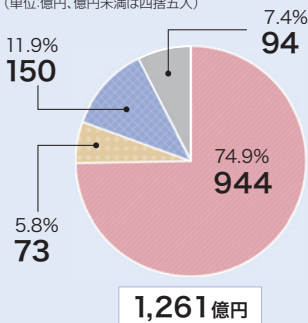
主に工業用マシン事業において減益

四半期純利益

営業外での為替差損の減少や、前期に発生した税効果会計の影響による法人税等の増加影響がなくなり増益

事業セグメント別売上高

(単位:億円、億円未満は四捨五入)



プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

通信・プリンティング事業で堅調に推移するも為替のマイナス影響で減収

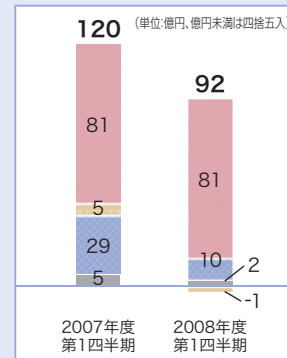
パーソナル・アンド・ホーム事業

売上構成での中・高級機の比率減少や為替のマイナス影響などで減収

マシナリー・アンド・ソリューションズ事業

産業機器がアジア向けで好調も、工業用マシンが中国の市場環境悪化の影響を受け全体では減収

事業セグメント別営業利益



■ プリンティング・アンド・ソリューションズ事業 ■ マシナリー・アンド・ソリューションズ事業
■ パーソナル・アンド・ホーム事業 ■ その他事業

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

研究開発費を含む販管費などの増加があったものの、現地通貨ベースでの売上増や売上構成の変動などにより全体では前年並みに推移

パーソナル・アンド・ホーム事業

売上構成の変動および販管費の増加などにより減益

マシナリー・アンド・ソリューションズ事業

主に工業用マシンでの売上減に伴い減益

2008年度業績予想について

売上高

工業用マシンの見込みを引下げても、為替レートの見直しによるプラス影響により前回予想から変更なし

利益

為替レートの見直しに伴う営業外での為替差損の増加見込みにより、経常利益、当期純利益では前回予想を下回る見込み

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2008年度予想	5,700	450	420	275
8/1発表(対前回増減率)	(—)	(—)	(△4.5%)	(△3.5%)
2008年度前回予想	5,700	450	440	285
4/25発表				
2007年度実績	5,664	535	465	271

配当の状況

	第2四半期末	期末	年間	連結配当性向
2008年度予定	14円	12円	26円	25.3%
2007年度実績	11円	11円	22円	22.3%

注:2008年度第2四半期末配当には、創業100周年の記念配当2円を含む

お知らせ